

精神看護援助論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・岡田実

科目担当者（職位・氏名）：助教・佐藤つかさ、非常勤講師・津島孝仁

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：79

■ 授業概要

精神疾患の症状および治療を医学的側面から教授する。精神疾患のある人との関わり方やケアの原則を基に、精神疾患のある人の対人関係特性や生活上の困難を理解し、強みを生かした生活ができる看護方法の演習や講義を実施する。また、精神疾患のある人の人権や法的側面を理解し、地域を基盤とした生活を支援する看護を提示する。

■ 到達目標

1. 精神疾患の症状や治療を医学的に説明できる。
2. 精神に障害のある人の対人関係の特性とケアの原則・方法を説明できる。
3. 精神に障害のある人の体験や困難を理解し、回復を助ける方法を説明できる。
4. 精神に障害のある人の人権や安全を守る方法について説明できる。
5. 精神に障害のある人の看護を説明できる。

■ 教育内容

精神看護学、個人・家族・集団・組織の支援

■ キーワード

精神保健、ケアの人間関係、精神疾患の診断・治療、精神疾患の看護

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	統合失調症の看護	統合失調症の発病過程と回復過程	佐藤
2		統合失調症の事例検討	岡田
3	感情障害の看護	感情障害の発病過程と回復過程	佐藤
4		感情障害の事例検討	岡田
5	精神障害者の看護①	地域におけるケアと支援	佐藤
6	精神障害の症状および治療 1	病因論、神経薬理学、生物学的精神医学	
7	精神障害の症状および治療 2	ICD と DSM, 精神医学	
8	精神障害の症状および治療 3	統合失調症、感情障害	
9	精神障害の症状および治療 4	老年精神医学、中毒性障害、神経発達障害	
10	精神障害の症状および治療 5	強迫性障害、パーソナリティー障害、PTSD	
11	精神障害の看護②	パーソナリティー障害の看護の原則と枠組み	岡田
12	精神障害の看護③	摂食障害の看護の原則と枠組み	岡田
13	精神障害の看護④	回復を助ける	岡田
14	精神障害の看護⑤	安全を守る	岡田
15	精神障害の看護⑥	身体をケアする	岡田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

試験 85%、参加態度 15%から総合的に評価する。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・小テストおよび課題、授業への質問は、講義時に解説する。
- ・期末試験は、試験後に解説を提示する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
精神看護学 ① 情緒発達と精神看護の基本
精神看護学 ② 精神障害と看護の実践

■ 参考書・参考資料等

- ・武井麻子著（2021）『系統看護学講—専門分野 精神看護の基礎 第6版』医学書院
- ・武井麻子著（2021）『系統看護学講座—専門分野 精神看護の展開 第6版』医学書院

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前学修：シラバス該当箇所のテキストおよび参考資料を読了しておくこと。
- ・事後学修：配布資料を確認し、理解に努めること。
事前・事後学修は、各 45 分程度行うこと。

■ 担当教員からのメッセージ

概論の知識を踏まえ、自ら進んで学習に取り組みましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

岡田：研究室 18、mokada★iwate-uhms.ac.jp

佐藤：研究室 22、tsato★iwate-uhms.ac.jp

オフィスアワーは定めませんが、事前にメール等で教員の予定を確認して下さい。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

医師

■ 実務経験を活かした教育内容

臨床やこれまでの教育経験を活かし、専門的実践的な講義を行っています。